



2023

Vegetables & Flowers Grown in Wakayama

和歌山県の 野菜・花き



令和5年9月

和歌山県農林水産部



立地条件

位置及び地勢

本県は紀伊半島の西南部に位置し、海岸線は約650kmに及び、県土の77%を森林地域が占めています。耕地は紀の川流域を始め、有田川、日高川、富田川、熊野川等の河川流域に広がっています。北部の海岸線は瀬戸内海、紀伊水道に面し、南部の海岸線は本州最南端まで延び、黒潮の流れる太平洋に面しています。

気象条件

年間平均気温は北部で16.9℃、南部で17.5℃と温暖で、海岸沿岸部には無霜地帯もあります。降水量は北部で1,414mmと比較的少なく、南部で2,654mmと多くなっています。また、日照時間は北部で2,100時間、南部では2,256時間であり、多日照地帯となっています。

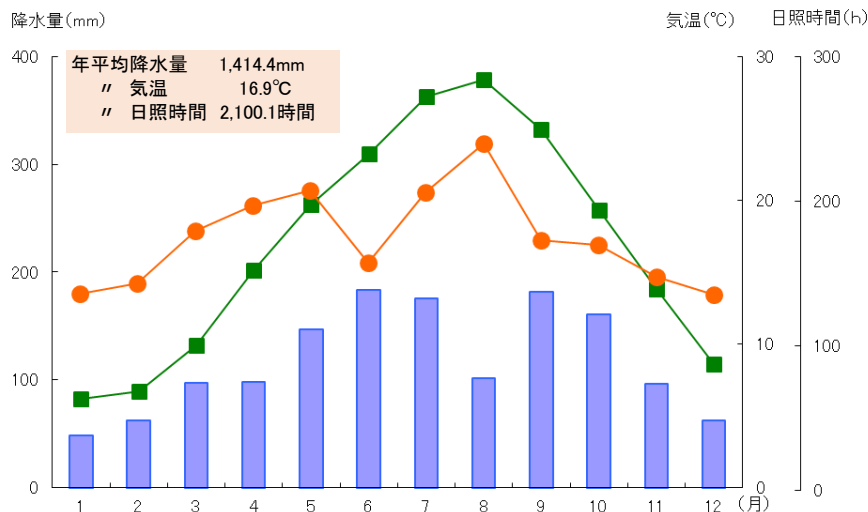


和歌山県

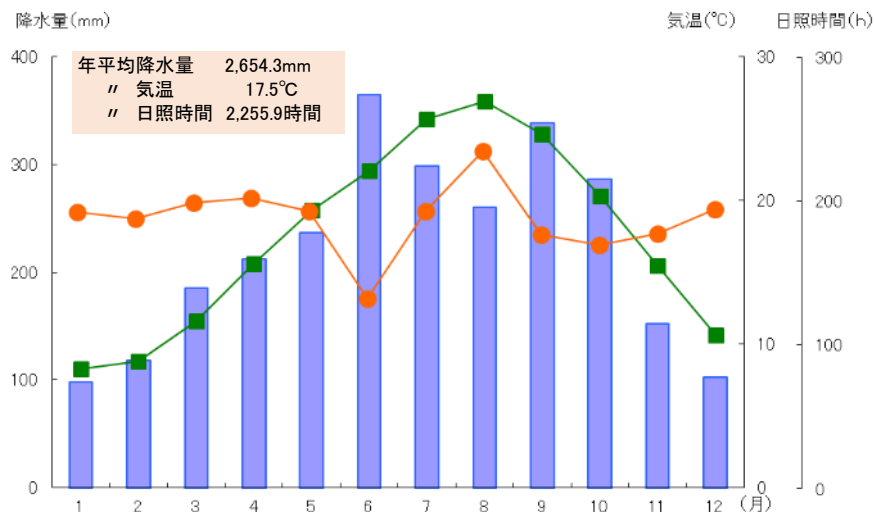
気象平年値

1991-2020
和歌山地方気象台

■ 降水量(mm)
■ 気温(°C)
● 日照時間(h)



【第1図】月別降水量、気温、日照時間（和歌山）

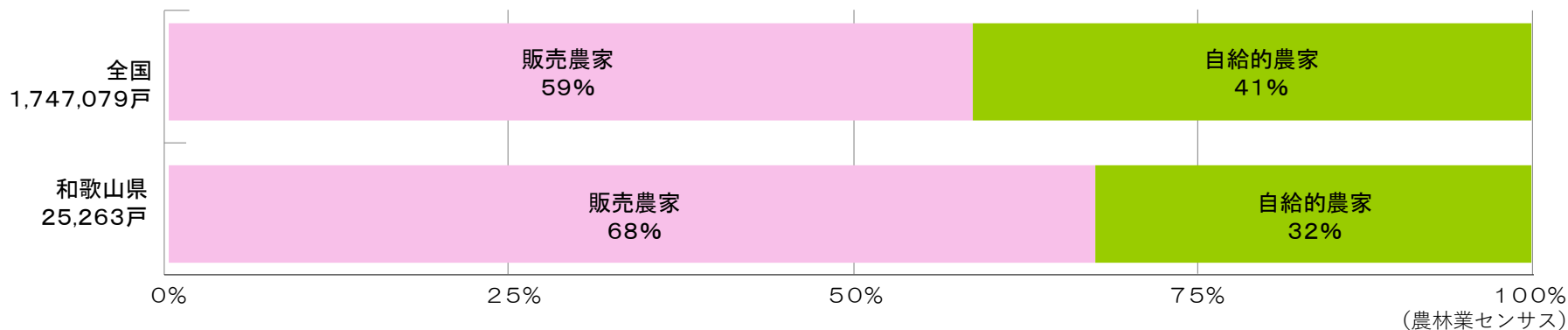


【第2図】月別降水量、気温、日照時間（潮岬）

和歌山県農業の概要

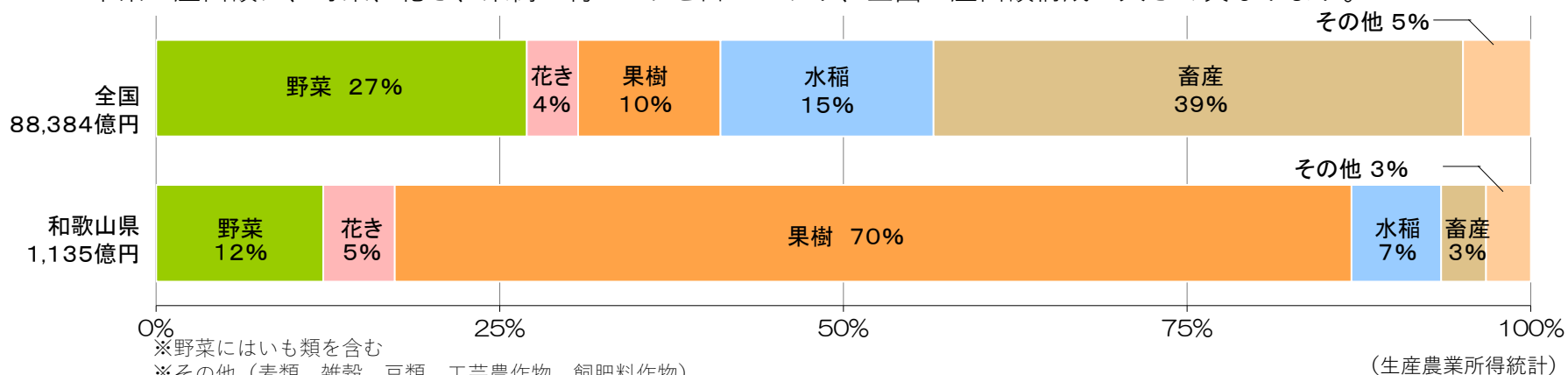
総農家数（令和2年）

本県は全国と比べて販売農家の割合が高くなっています。



農業産出額（令和3年）

本県の産出額は、野菜、花き、果樹で約85%を占めており、全国の産出額構成と大きく異なります。



※野菜にはいも類を含む

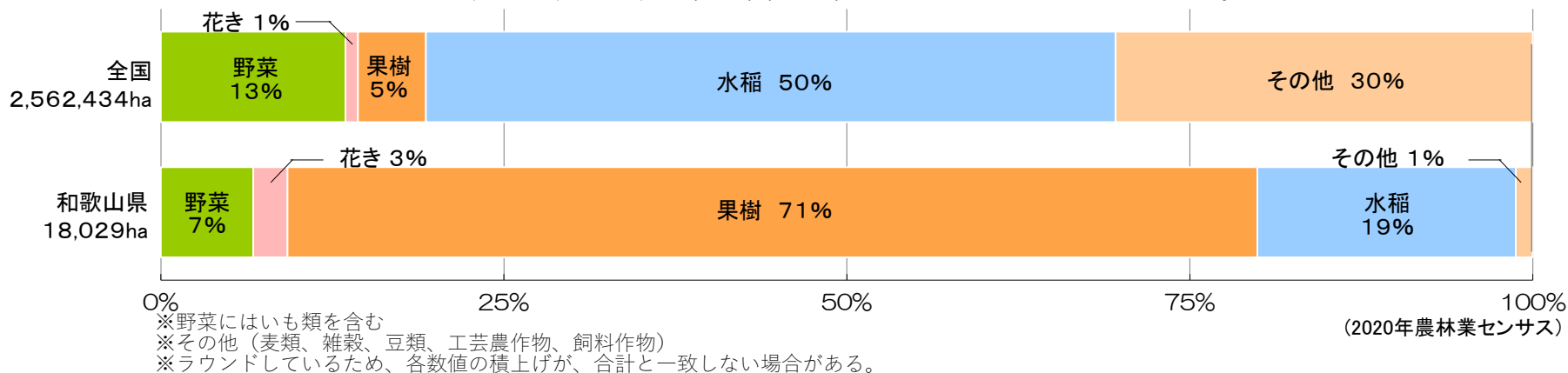
※その他（麦類、雑穀、豆類、工芸農作物、飼肥料作物）

※ラウンドしているため、各数値の積上げが、合計と一致しない場合がある。

和歌山県農業の概要

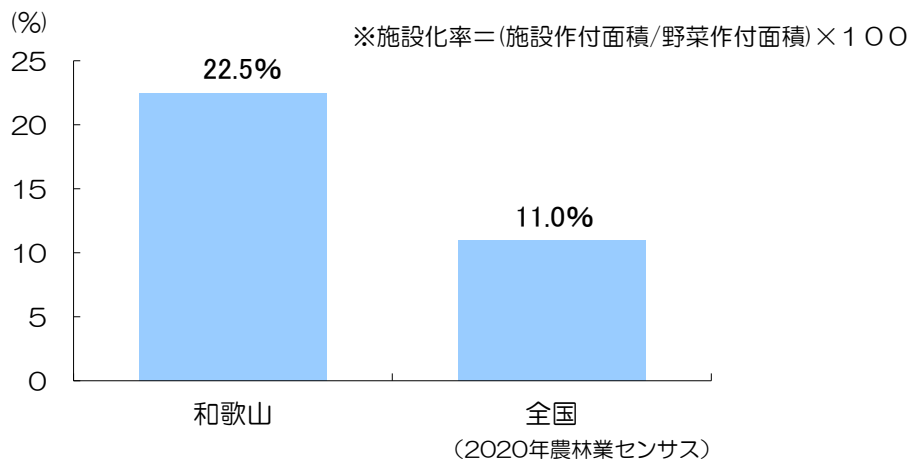
作付面積（販売目的）（令和２年）

本県の販売目的の作付延面積は、野菜、花き、果樹の園芸作物が80%以上を占めています。



野菜の施設化率（販売目的）（令和２年）

本県の野菜栽培は、全国に比べ施設化率が高く、集約的な農業が行われています。



和歌山県における野菜の生産状況

和歌山県では、京阪神に隣接した地理的条件と冬季温暖な気象条件を活かし、古くから野菜栽培が盛んであり、えんどうをはじめ、キャベツ、はくさい、だいこん、たまねぎなど多種多様な品目が栽培されています。また、えんどう、トマト、きゅうりなどは、露地栽培と施設栽培を組み合わせ、長期安定生産を行っています。

主要野菜の作付面積・収穫量と全国シェア（令和3年）

品目名	全国		本県		シェア		収穫量 全国順位
	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (%)	収穫量 (%)	
えんどう	3,373	25,400	251	3,205	7.4	12.6	2
ししとう	293	5,700	12	230	4.1	4.0	4
はくさい	16,500	899,900	145	9,130	0.9	1.0	17
たまねぎ	25,500	1,096,000	107	4,860	0.4	0.4	17
キャベツ	34,300	1,485,000	197	7,270	0.6	0.5	29
だいこん	29,200	1,251,000	128	8,490	0.4	0.7	31
トマト（ミニトマト含む）	11,400	725,200	92	3,640	0.8	0.5	37

（野菜生産出荷統計）

主な野菜の出荷時期

品目名	施設・露地別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
うすいえんどう	施設												
うすいえんどう	露地												
きめさやえんどう	施設												
きめさやえんどう	露地												
トマト	施設												
ミニトマト	施設												
ミニトマト	露地												
きゅうり	施設												
きゅうり	露地												
なす	施設												
なす	露地												
ピーマン	施設												
ししとう	施設												
ししとう	露地												
いちご	施設												
すいか	露地												
キャベツ	露地												
はくさい	露地												
ブロッコリー	露地												
レタ	露地												
だいこん	露地												
にんじん	露地												
たまねぎ	露地												
しょうが	施設												
しょうが	露地												
ほうれんそう	施設・露地												

和歌山県における野菜（いも類を含む）品目別作付面積と産出額の推移

品目名		年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和3年
作付面積 (ha)	えんどう		696	562	467	384	332	330	278	251
	春・冬キャベツ		487	439	368	295	238	224	200	196
	春・秋冬はくさい		234	215	228	200	158	150	134	145
	ブロッコリー		309	189	132	178	147	137	124	106
	秋冬だいこん		338	280	201	183	140	128	115	110
	たまねぎ		746	454	277	167	127	117	115	107
	トマト		150	119	130	112	113	103	92	92
	ほうれんそう		129	111	106	147	108	95	77	75
	すいか		228	211	144	107	94	91	89	83
	かんしょ		178	146	136	98	82	68	55	—
	きゅうり		124	107	96	91	78	66	59	56
	春夏にんじん		101	97	90	76	56	54	48	46
	冬レタス		272	207	98	87	51	41	—	—
	いちご		81	71	68	—	48	—	—	—
	しょうが		—	—	—	39	39	41	—	—
	ししとう		36	27	26	21	20	18	14	12
	その他		1,472	1,211	1,019	1,223	841	825	—	—
合計		5,581	4,446	3,586	3,408	2,672	2,488	—	—	
産出額（億円）			244	219	174	161	168	165	143	138

※表中の—は、調査データのないもの

（野菜生産出荷統計、作物統計調査、生産農業所得統計）

※「えんどう」は、うすいえんどう、きぬさやえんどう、オランダの合計

※「すいか」は、大玉すいか、小玉すいかの合計

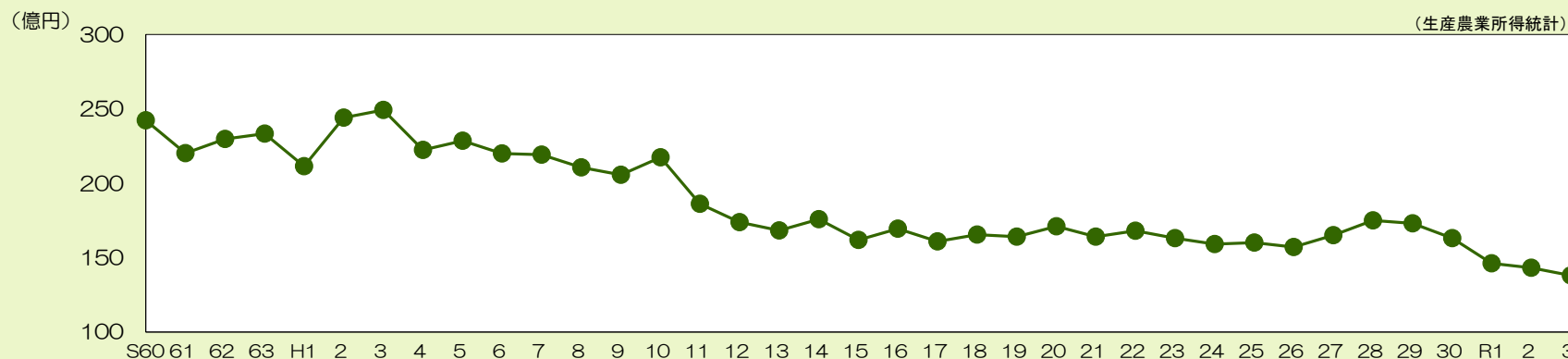
※「トマト」は、大玉トマト、ミニトマト、加工用トマトの合計

※「冬レタス」、「いちご」及び「しょうが」は平成29年以降は3年周期で全国調査を実施

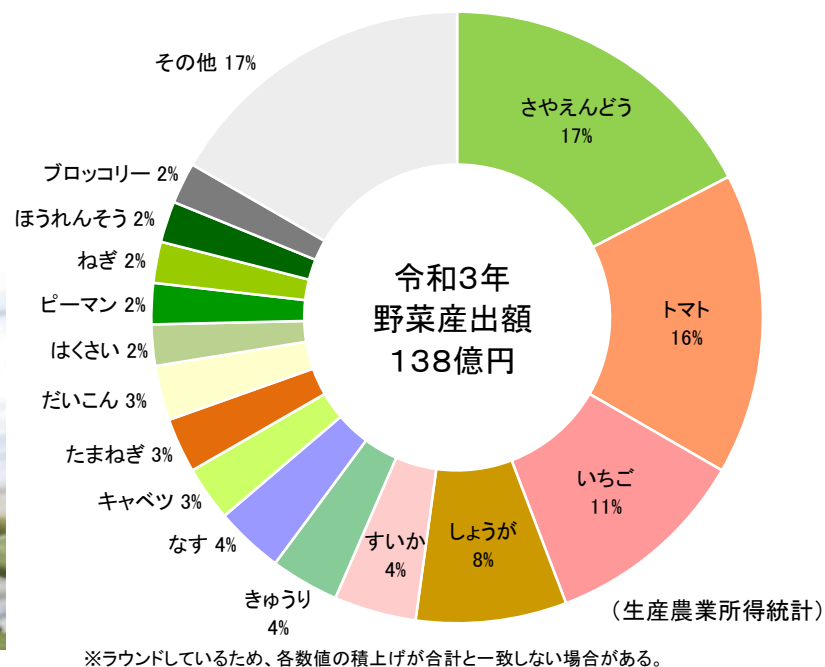
※「かんしょ」は平成30年以降は3年周期で全国調査を実施

※作付面積の合計値は平成29年以降統計の公表なし

和歌山県における野菜産出額の推移



品目別産出額構成比



和歌山県における花きの生産状況

和歌山県では、京阪神に隣接した地理的条件と冬季温暖な気象条件を活かし、産地振興を図っています。
特に切り花の出荷量は全国7位、なかでもスターチスは全国1位、宿根かすみそうは2位、ガーベラは3位となっており、その他にも、多種多様な切り花が栽培されています。

主要花きの作付面積・収穫量と全国シェア（令和3年）

品目名	全国		本県		シェア		収穫量 全国順位
	作付面積 (ha)	出荷量 (千本)	作付面積 (ha)	出荷量 (千本)	作付面積 (%)	出荷量 (%)	
スターチス	167	122,400	71	67,200	42.5	54.9	1
宿根かすみそう	201	50,800	20	10,600	10.0	20.9	2
ガーベラ	78	122,600	6	10,800	7.7	8.8	3
スプレイぎく※	712	247,800	28	8,380	3.9	3.4	6
ばら	284	194,400	6	3,560	2.1	1.8	16

※「スプレイぎく」は、平成29年以降は3年周期で全国調査を実施実施しているため、令和元年の数値を記載

(花き生産出荷統計)

主な花きの出荷時期

品目名	施設・露地別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スターチス	施設	[出荷期間]											
宿根かすみそう	施設	[出荷期間]											
スプレイぎく	施設	[出荷期間]											
小ぎく	施設	[出荷期間]	[出荷期間]										
ばら	施設	[出荷期間]											
カーネーション	施設	[出荷期間]										[出荷期間]	
スイートピー	施設	[出荷期間]										[出荷期間]	
ガーベラ	施設	[出荷期間]											
ストック	施設	[出荷期間]										[出荷期間]	
千両	施設※	[出荷期間]											[出荷期間]

※千両の施設は遮光施設

和歌山県における花き品目別作付面積と産出額の推移

(産出額は、切り花類、鉢ものの類及び花壇用苗ものの類の合計)

品目名		年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和3年
作付面積 (ha)	切り花類	スターチス	26	43	54	49	58	70	72	71
		宿根かすみそう	61	67	47	33	26	—	20	20
		スプレイぎく	16	31	38	41	39	32	—	—
		小ぎく	51	41	28	21	14	13	—	—
		輪ぎく	23	23	20	15	10	8	—	—
		ばら	23	31	23	18	15	10	7	6
		ガーベラ	2	3	8	7	7	7	6	6
		その他切り花	536	708	693	685	537	505	514	514
	切り花小計	738	947	911	869	706	645	619	617	
	鉢ものの類	6	12	7	—	7	—	—	—	
	花壇用苗ものの類	4	8	19	—	13	—	—	—	
花木類	245	260	132	77	97	87	—	79		
地被植物類	—	—	4	5	4	4	—	3		
合計	993	1,227	1,072	951	827	736	—	699		
産出額(億円)		95	120	84	68	58	58	53	59	

※表中の—は、調査データのないもの

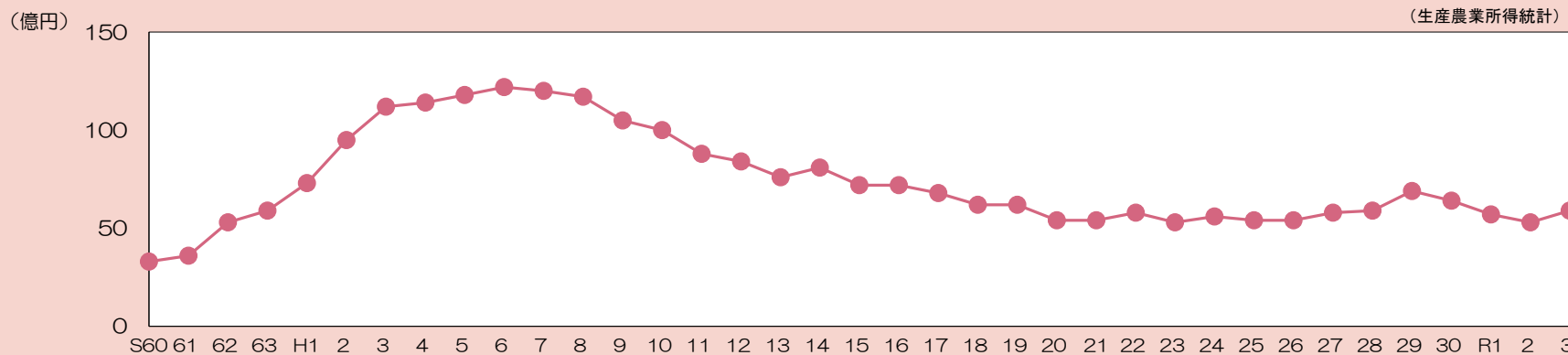
(花き生産出荷統計、花木等生産状況調査、生産農業所得統計)

※ラウンドしているため、各数値の積上げが合計と一致しない場合がある

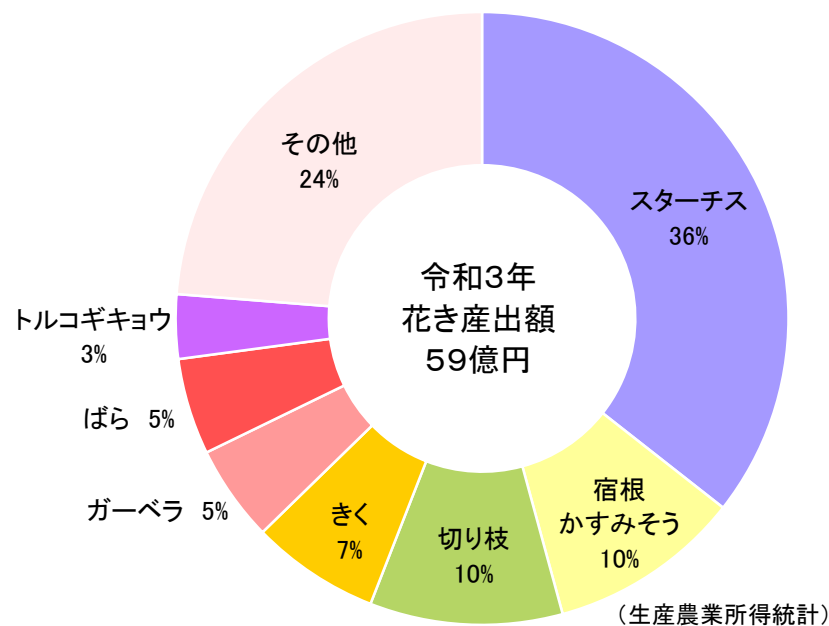
※「スプレイぎく」、「小ぎく」、「輪ぎく」、「鉢ものの類」及び「花壇用苗ものの類」は平成29年以降は3年周期で全国調査を実施

※「花木類」及び「地被植物類」は令和元年以降は3年周期で全国調査を実施

和歌山県における花き産出額の推移



品目別産出額構成比



※ラウンドしているため、各数値の積上げが合計と一致しない場合がある。

野菜・花きの主なオリジナル品種

和歌山県では、野菜・花きのブランド力向上やコストダウン等による産地振興を図るため、オリジナル品種の育成に取り組んでいます。

いちご「まりひめ」

「まりひめ」は、強い甘味と程よい酸味を有し、果実が大きく、果肉が赤いのが特徴で、多収性に優れた品種です。本県の主力品種のひとつとなっています。



まりひめ

いちご「紀の香」

「紀の香」は、果実の香りが豊かで、「まりひめ」と同様に糖度は高い一方、やや酸味が効いたさわやかな食味が特徴です。極早生種で、春まで連続して収穫できる多収性品種です。



紀の香

スターチス「紀州ファインシリーズ」

スターチスでは、品質や収量性の向上、種苗コストの低減を目的に県オリジナル品種の育成を行っています。これまでに「紀州ファインシリーズ」として紫、黄、白など、10品種が品種登録されています。



紀州ファインバイオレット



紀州ファインイエロー



紀州ファインパール

うすいえんどう「きしゅううすい」「紀の輝」

「きしゅううすい」は、収量性が高く莢や子実の品質が良い晩生種で、「紀の輝」は莢が大きい早生種です。うすいえんどうの産地では、露地と施設栽培を組み合わせた長期出荷の栽培体系が定着しています。



紀の輝

さやえんどう「紀州さや美人」

「紀州さや美人」は、従来品種に比べ秀品率が高い品種です。選別作業の省力化が可能なことから、生産現場への普及が進んでいます。



紀州さや美人

ししとう「ししわかまる」

「ししわかまる」は、県と京都教育大学との共同研究により育成されました。辛味果実が発生しないことから、販路拡大が期待でき、生産現場への普及が進んでいます。



ししわかまる

各地域の主要品目と新たな取組について

海草地域（和歌山市、海南市、紀美野町）

主要品目

だいこん、にんじん、しょうが、ピーマン、ほうれんそう、こまつな、キャベツ、はくさい、ブロッコリー、
トマト、ミニトマト、いちご
花壇用苗、スプレイぎく、ユーカリ、アカシア

新たな取り組み

ナス、キュウリ、キャベツ、ロメインレタスなどの契約的取引野菜の作付が増えています。
また、新しょうが栽培用の種しょうが栽培に取組んでいます。



キャベツ

那賀地域（紀の川市、岩出市）

主要品目

たまねぎ、いちご、はくさい、キャベツ、きゅうり、トマト、なす、えんどう、黒枝豆
スプレイぎく、緑化木、しゃくやく、はぼたん、ストック、きんぎょそう

新たな取り組み

いちご「まりひめ」の高品質安定生産を推進するとともに、令和4年からは紀の川市において
「紀の川アグリカレッジ」を開講し、いちご農家の育成・確保にも取り組んでいます。



いちご「まりひめ」

伊都地域（橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町）

主要品目

トマト、きゅうり、いちご、みょうが、たまねぎ
ばら、小ぎく、アスター、トルコギキョウ、花壇用苗、こうやまき

新たな取り組み

果樹との複合経営品目として、遊休農地を活用した業務用野菜（たまねぎ、なばな）、早生えだ
まめの生産を推進しています。



たまねぎ

各地域の主要品目と新たな取組について

有田地域（有田市、湯浅町、広川町、有田川町）

主要品目

ししとう、トマト、いちご、にんにく、ミニトマト
スプレイぎく、花木類（コデマリ、スモークツリーなど）、おもと、トルコギキョウ、グランドカバー（フィリフェラオーレアなど）、カーネーション、ひまわり、ばら、アスター、スイートピー

新たな取り組み

「ししわかまる」等ししとうの栽培技術の改善に取り組んでいます。



ししとう「ししわかまる」

日高地域（御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町）

主要品目

えんどう、すいか、ミニトマト、きゅうり、ねぎ、いちご、ピーマン、なす、ブロッコリー、キャベツ、はくさい、レタス、そらまめ、にがうり、にんにく、なばな類、スターチス、宿根かすみそう、ガーベラ、スプレイぎく、スイートピー、小ぎく、千両、さかき、ひさかき

新たな取り組み

うすいえんどうのハウス栽培において、収穫作業等の省力化が期待できる短節間品種「光丸うすい」の地域導入を推進しています。



うすいえんどう「光丸うすい」(左)

西牟婁地域（田辺市、白浜町、上富田町、すさみ町）

主要品目

レタス、いちご、えんどう、たかな、スイートコーン、えだまめ、そらまめ、しそ
宿根かすみそう、スターチス、ガーベラ、トルコギキョウ、ストック、ホオズキ、なのはな、しきみ、さかき

新たな取り組み

高齢者も取り組みやすい軽量野菜として、そらまめやなばなを推進しています。花きでは、高値が期待できるトルコギキョウと経費が少なく比較的取り組みやすいけいとう、なのはなを推進しています。



トルコギキョウ

各地域の主要品目と新たな取組について

東牟婁地域（新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町）

主要品目

いちご、なす、さつまいも、たかな、にんにく、スイートコーン
トルコギキョウ、千両、しきみ

新たな取り組み

耕作放棄地解消に向けた品目として、鳥獣による被害を受けにくいにんにくや、伝統的に栽培されているたかな、さつまいもを推進しています。又業務向け花きとして、トルコギキョウの高品質生産に取り組んでいます。



にんにく



わかやま布引だいこん
地理的表示(GI)保護制度
に登録されました。

(令和3年5月登録)



和歌山県PRキャラクター
「きいちゃん」

和歌山県 農林水産部 **果樹園芸課**

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 TEL.073-432-4111(代)
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/index.html>